

災害事例 CG を活用した安全活動の実施件数が昨年比 152%に 現場の安全意識向上へ寄与

2025 年 9 月 1 日
株式会社 杉孝

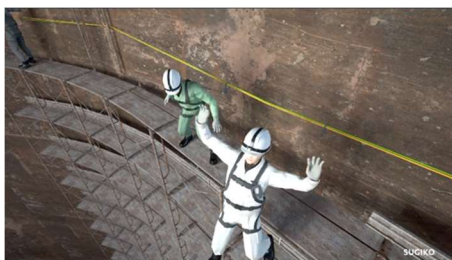
仮設機材レンタル事業を行う株式会社 杉孝（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：杉山 亮）は、『足場安全コンサルティング』事業の一環として、当社オリジナルの災害事例 CG 動画を活用した安全教育サービスを 2012 年より提供しています。2025 年上半期の活動実施件数は昨年同期比 152%に達し、現場の安全意識の高まりを示しています。

現場の安全のために法令整備がすすみ、足場点検者の指名が義務化したこと等を背景に、足場の上で作業を行う際に発生する死傷災害は減少傾向にあります。しかし、足場の組立・解体作業時に発生する災害件数は減少していません（※1）。そこで SUGIKO は、お客様のご協力のもと、お客様の現場で実際に起きた足場の組立・解体作業中の災害を CG 映像化してきました。8 月 30 日には、さらに新しい災害事例 CG 動画が一つ完成しました。この度作成した CG の元となった災害の特徴は、複数の要因が絡み合い、2 人が墜落・1 人が飛来落下物による負傷をしてしまった、複雑な災害であることです。複雑であるが故に、文字や図で記された災害報告書だけでは事故当時の状況を把握することは困難ですが、動画におこすことで情報が視覚化され、災害発生時の状況を直感的に理解できるようになり、さらに災害の原因と対策を考察しやすくなります。

SUGIKO の CG 動画をご覧いただける安全教育サービスの特徴は、動画視聴後に受講者同士でディスカッションを実施する点です。SUGIKO の専門部署の社員が様々な視点からのディスカッションを促し、「自分が墜落者 A と同じ状況なら、どのような墜落防止策をとっていたか」「自分ならどのような KY 活動をしていたか」「落下防止の足場材（巾木や手すり等）はどうあるべきだったか」のように、多角的に、かつ自身の一つ一つの業務に落とし込みながら災害について考えていただけるよう、工夫を凝らしています。これらによって、受講者の安全に対する感受性の向上・実践的な安全対策の習得が可能になり、結果として現場の安全に繋がっていきます。

これら取り組みは、SUGIKO が足場のレンタル会社として、安全を実現するためのノウハウを蓄積してきたからできることです。安全教育を受講されたお客様からは、現場社員の安全意識の向上に有効だったとの反響を多数いただき、昨年のリピーター率は約 7 割にのびりました。

SUGIKO はこれからもコンテンツの改善や拡充を続け、『足場安全コンサルティング』事業を通して現場の安全に寄与していきます。



動画キャプチャ：足場の上から墜落する瞬間



動画キャプチャ：墜落後の様子

※1・・・厚生労働省の労働災害発生状況データによる。

（このプレスリリースに関するお問い合わせ） 株式会社杉孝 総務課

広報担当：福家（ふけ）・豊田（とよた）TEL:045-444-0835 MAIL:soumu@sugiko.co.jp